

笑顔と努力が光るアスリート

陸上競技との出会い
インターハイ出場の夢

社会人アスリートの宇土綾乃さんは、陸上競技・短距離走を人生の一部と語ります。しかし、その競技を始めたきっかけは意外なものでした。

宇土さんは、小・中学校とバスケ部に所属、陸上競技の経験はわずかでしたが、高校入学直前に、後の高校の恩師から陸上部へ突然のスカウト。「女子チームでマイルリレーに出場し、インターハイを目指さないか」と言うのです。

進学先の高校は男子マイルリレーの強豪校でしたが、女子部員の少なさから、これまで女子リレーチームがありませんでした。チームは4人一組なのに女子部員は宇土さんを含め短距離選手2人、投てき選手2人だけ。宇土さんの記録も当時は平凡で、インターハイどころかチームとして成立させるのがやっと。

「そこからの練習は過酷でした。毎日のように泣いて、吐いて。気合を入れるために

自ら坊主にもしました」と宇土さんは振り返ります。

練習に打ち込むうちに、恩師の夢は自分の夢となり、何度も挑戦を続け、迎えた高校3年生の夏。共に歩んできた同級生と1年生で結成したチームが高校総体南九州大会で4位に入賞し、念願のインターハイ出場を果たしました。

夢は続く

卒業後、宇土さんは一度陸上競技から離れましたが、大けがをした際、リハビリの一环として短距離走を再開。わずか4カ月間でベストタイムを更新し、「やっぱり私には陸上が一番だ」と実感しました。再び厳しい練習を重ね、今年5月の第67回九州実業団大会では優秀な成績を収め、9月の全国大会出場を決めました。これからの目標について宇土さんは、「熊本女子陸上を盛り上げて、競技人口を増やしたい」と語ります。「努力を続けたら夢はかなう。私がそれを実現して、若い世代にも伝えていきたいです」

下段写真左から／
厳しい練習／宇土
さんが所属する
EAGLERUN RC
熊本の高め合う仲間
たち／2024年
第78回国民スポー
ツ大会熊本県最終
予選会(本人提供)

